

Express5800/GT110f, T110f-E, GT110g, T110g-E, iStorage NS300Te, NS300Tf 低温時のエラーメッセージなら びにステータス LED のアンバー点灯について

Express5800/GT110f, T110f-E, GT110g, T110g-E, iStorage NS300Te, NS300Tf の動作時の環境温度条件は 10°C～40°C ですが、環境温度が 0°C 前後以下になったときハードウェアの故障でなくても STATUS ランプがアンバー点灯する場合があります。低温時に STATUS ランプが点灯したときには後述の手順でエラーの確認し、該当するエラーの場合には環境温度を改善してください。また、STATUS ランプをアンバー点灯から緑色点灯に戻してください。

本装置では、マザーボード上で 3 度未満を検出した際にも STATUS ランプがアンバー点灯しますが、この場合には規定の温度まで上昇すれば STATUS ランプは緑色に戻ります。

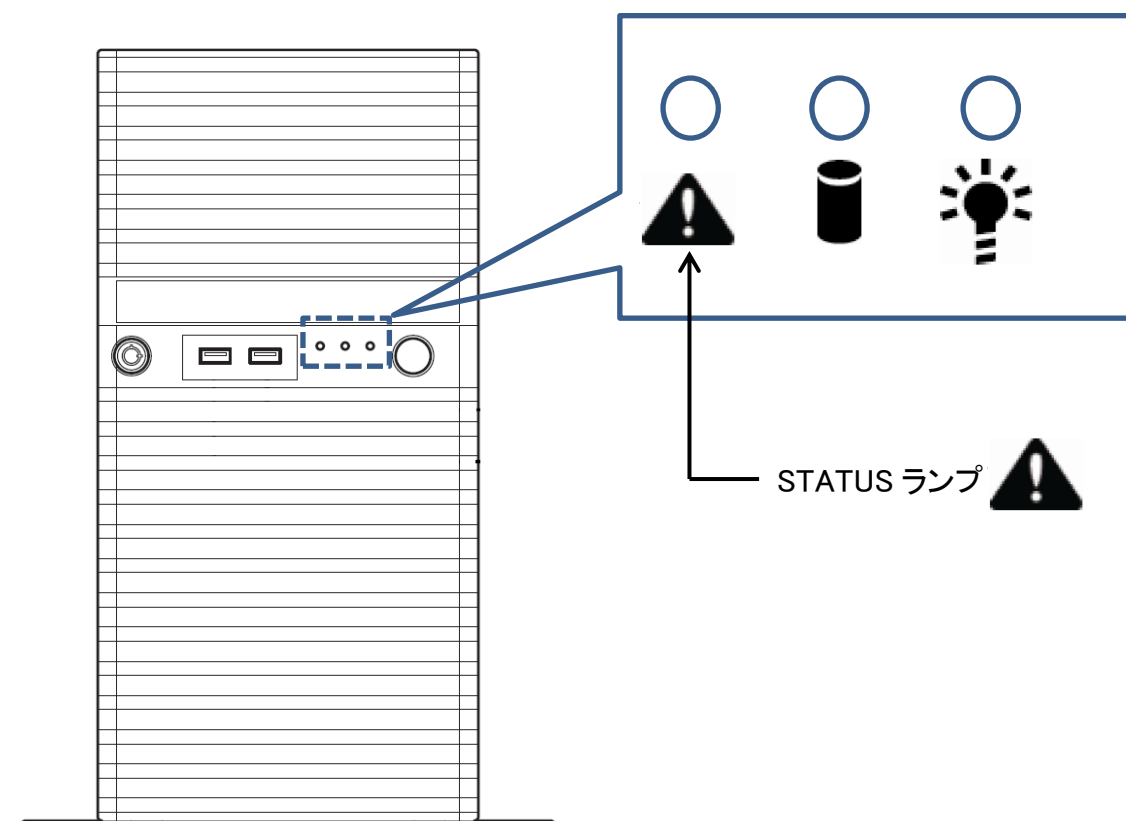
しかし、該当エラーの場合には温度が上昇して温度が改善されても、STATUS ランプは自動復旧しません。

「(以下、「本件事象」と記載します)」

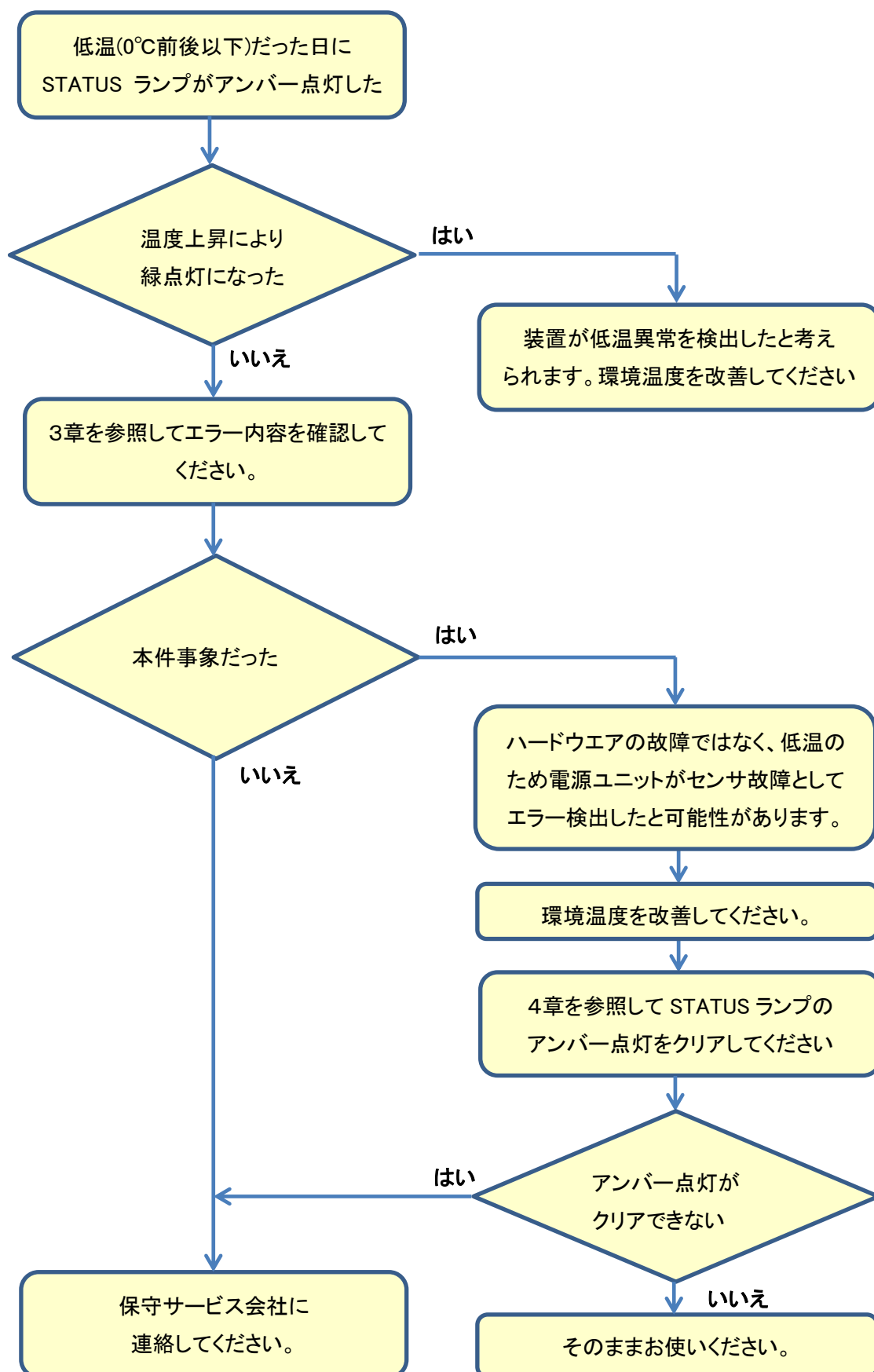
1. 対象装置

Express5800/GT110f, T110f-E, GT110g, T110g-E

iStorage NS300Te, NS300Tf



2. 対象フロー



3. エラー内容確認方法

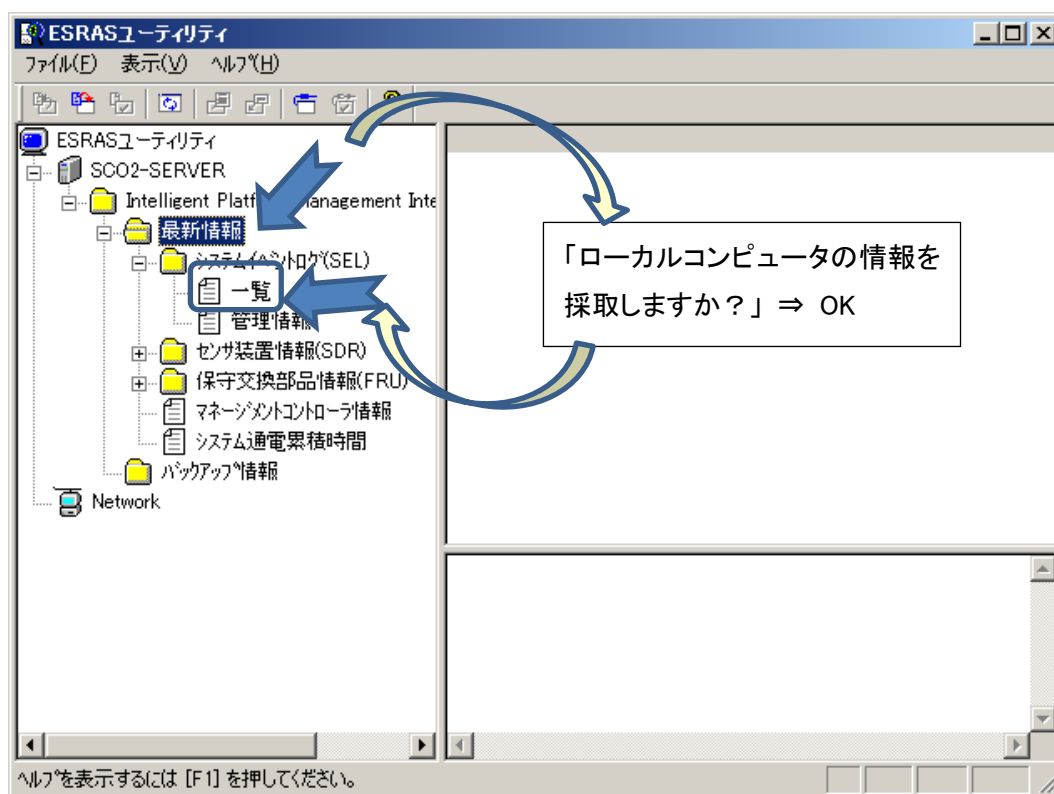
装置の設置環境が低温になったと考えられる時に STATUS ランプがアンバー点灯した場合には、以下の手順で本件事象であるかを確認してください。

・ESRAS ユーティリティを起動する

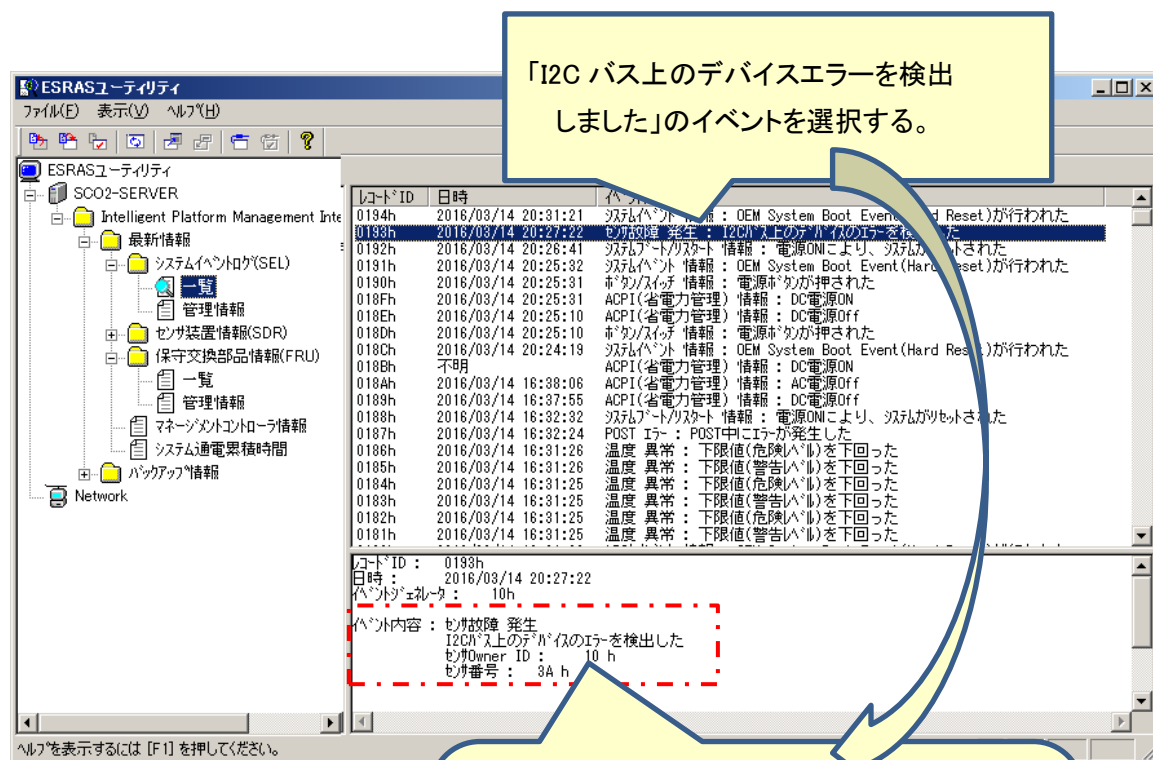
ESRAS ユーティリティの起動方法

- ・ Windows 2008R2 : スタート ⇒ ESMPRO ServerAgent ⇒ ESRAS ユーティリティ
- ・ Windows 2012, 2012R2 : Windows キー ⇒ Windows キー + Z で「右下にすべてのアプリ」が表示されるので選択 ⇒ ESMPRO ServerAgent のグループの ESRAS ユーティリティ を選択

・左側の枠の「最新情報」をクリック、「ローカルコンピュータの情報を採取しますか？」に対し OK をクリック。
システムイベントログの下の一覧を選択してください。



・右側の枠で「センサ故障 発生:I2C バス上のデバイスのエラーを検出しました」というイベントを選択し、下の枠に表示されるメッセージの「イベント内容」を確認してください。




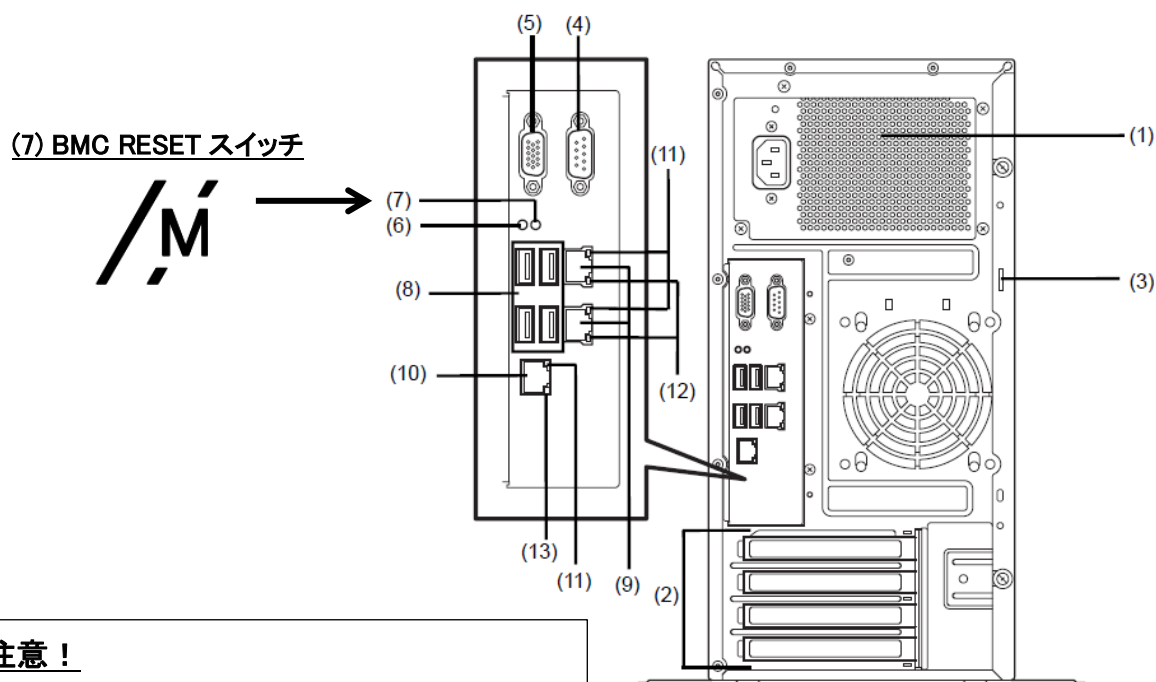
「イベント内容」の
2 行目:「I2C バス上のデバイスエラーを検出した」
4 行目: センサ番号: 3Ah
ならば、動作温度外の温度によりセンサ故障として検出された可能性あり。

以下の記載ならば、電源ユニットが動作温度外の低温になったために本件事象として検出された可能性があります。

- 2 行目: I2C バス上のデバイスのエラーを検出した
- 4 行目: センサ番号: 3Ah

4. STATUS ランプ アンバー点灯からの復旧方法

下図(7)の BMC RESET スイッチ (アイコン ) を 5 秒間押し続けて、BMC をリセットしてください。STATUS ランプがアンバー点灯から緑点灯に変わります。



注意！

BMC RESET スイッチの隣の

(6) **NMI** スイッチ(*)は押さないでください。

(*) NMI スイッチはメモリダンプを採取するために、動作中の OS を強制的にクラッシュさせるスイッチです。アイコン： **NMI**

以上です